

弾道ミサイル 落下時の行動 などについて

弾道ミサイルは、発射から極めて短時間で着弾します。ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、政府が全国瞬時警報システム（Ｊアラート）を使用して各地域へ情報伝達をすることとなります。万が一、防災行政無線や緊急速報メール（エリアメール）、テレビ、ラジオを通じてミサイルに関わる緊急情報が流れた場合には、直ちに以下の行動をとってください。

【屋外にいる場合】

- ・ 近くの建物などに避難する。
- ・ 近くに適当な建物がない場合は、物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。

【屋内にいる場合】

- ・ できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動する。
- ・ 有事発生時の行動を普段からご家族で話し合っておきましょう。



弾道ミサイル落下時の行動について

弾道ミサイルは、発射からわずか10分もしないうちに到達する可能性もあります。ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、国からの緊急情報を瞬時に伝える「Ｊアラート」を活用して、防災行政無線で特別なサイレン音とともにメッセージを流すほか、緊急速報メール等により緊急情報をお知らせします。

①速やかな避難行動

②正確かつ迅速な情報収集

行政からの指示に従って、落ち着いて行動してください。



国民保護ポータルサイト
武力攻撃やテロなどから身を守るために



事前に確認しておきましょう。
http://www.kokuminhogo.go.jp/shiryou/hogo_manual.html

ミサイル落下時には、こちらから政府の対応状況をご覧になれます



首相官邸
ホームページ
www.kantei.go.jp/



Twitterアカウント
首相官邸災害・危機管理情報
@Kantei_Saigai



「Ｊアラート」（例）直ちに避難。直ちに避難。直ちに頑丈な建物や地下に避難してください。ミサイルが落下する可能性があります。直ちに屋内に避難してください。

メッセージが流れたら

落ち着いて、直ちに行動してください。

屋外に
いる場合

できる限り頑丈な建物や
地下に避難する。

地下：地下街や地下駅などの地下施設

建物がない場合

物陰に身を隠すか、
地面に伏せて頭部を守る。

屋内に
いる場合

窓から離れるか、
窓のない部屋に移動する。



- 屋外にいる場合：口と鼻をハンカチで覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内または風上へ避難する。
- 屋内にいる場合：換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。

詳しい情報は、内閣官房
「国民保護ポータルサイト」
をご覧ください。
<http://www.kokuminhogo.go.jp/>

【問い合わせ先】
総務課防災係
☎ 0137-62-2111

八雲警察署からお知らせ

両親や祖父母に伝えよう！
65歳以上の方や女性の被害が多い！

オレオレ詐欺被害防止「絆メッセージ」

～家族から被害者を出さないために～

- ① 電話で家族などのふりをして「トラブル（※）にあい、困った、助けて、お金が必要！」と言ってお金をだまし取るオレオレ詐欺がとて増えています。
- ② 私は、電話で「お金が欲しい」「お金を振り込んで欲しい、人に渡して欲しい、送って欲しい」なんて、絶対に言いません！
- ③ もし、このような電話が来たら、とにかく私や家族、警察に相談してください。

このメッセージは、みなさんの大切なご家族がオレオレ詐欺の被害に遭わないように、みなさんの声で直接ご家族に伝えてもらうためのものです。

実家帰省をされるみなさん、両親や祖父母など大切な方々へ「絆メッセージ」をお伝えください。

北海道犯罪のない安全で安心な地域づくり推進会議（事務局：北海道・北海道警察・北海道教育委員会）

【問い合わせ・申し込み先】 函館方面八雲警察署 ☎ 0137-64-2110

（※）トラブルの例
「会社のお金が入った
カバンをなくした」
「株で失敗した」
「女性を妊娠させた」など